

2008. 3. 3  
一般公開

Start

教員情報DBからの連携登録



教員情報DB上で教員がリポジトリ登録の意思表示ができ、そのメタデータをリポジトリに流用入力することができる登録支援機能を構築し、運用を開始した。

教員からの自発的なコンテンツ提供促進

各教員へのコンテンツ登録の依頼をした際、依頼した論文以外の論文を連携登録してくれるケースがあった！

2008. 8. 7  
教員情報DBとの  
連携開始

2マスすすむ

連携登録数(2008.8-2009.2)



紀要の投稿要領の  
改正を検討

「リポジトリ登録」の文言  
追加に一苦労

一回休み

九州工業大学学術機関リポジトリ  
“キューテイカー”  
Kyutacar  
Kyushu Institute of Technology of Academic Repository

2008. 11  
リポジトリ連携  
システムを稼動

3マスすすむ

今までは  
1件ずつ登録していたけれど...

まとめてExcelでデータ作成



海外出版社の  
著作権処理作業が  
難航

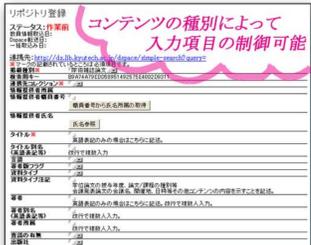
1マスもどる



統計機能 実装  
世界中からアクセス！

2008年度  
ダウンロード件数  
約25,000件

登録作業効率UP! 登録作業の一元化!  
リポジトリ連携システムの開発

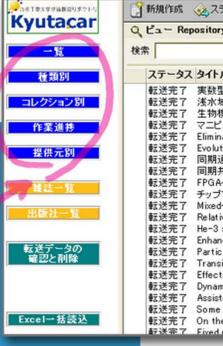


●教員情報DBからの連携登録管理機能  
連携登録されたコンテンツを管理、登録することが可能。

●コンテンツ作業状況管理  
メタデータ編集、進捗状況管理、  
論文PDF添付可能。各種ソート機能あり。

●コンテンツ登録機能(個別・一括)  
Excelファイルからデータの一括読み込みが可能。  
システムで選択したコンテンツをリポジトリシステムへ登録することが可能。

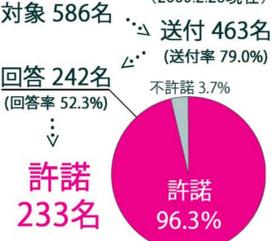
●著作権許諾状況管理  
出版社及び雑誌別で各著作権許諾状況を管理。登録作業時に参照可能。



学位論文の  
遡及電子化の  
作業がすすむ

2マスすすむ

学位論文著作権処理作業の結果  
(2009.2.28現在)



コンテンツ登録  
数がついに  
1000件突破!

1マスすすむ

過去の研究成果の登録準備作業実施! → H21年度公開作業予定  
学位論文の著作権処理作業

対象: 586名 (H17年度以前の学位取得者) ...> 連絡先判明(送付) 463名  
作業期間: 2008.10-2009.2 ...> 承諾 233名 / 回答242名

連絡先が判明した方へ学位論文の電子的公開の依頼文と許諾書(返信用ハガキ)を送付。  
海外の場合は「国際返信切手券」を同封し、返信を依頼した。  
2009.2.28以降も連絡先が判明したものは随時作業を行っており、現在も返信がある。  
...> 2009.6.30 現在の承諾 265名 / 回答277名  
今後連絡先が判明したものは随時作業を行う予定である。

過去の紀要の電子的公開への準備も進行中

承諾していただいた論文はH21年度に電子化処理後、登録し公開する。

- ★学術雑誌論文を約300件登録
- ★学位論文・紀要のH20年度許諾書提出分登録
- ★科研費成果報告書のH20年度許諾書提出分登録
- ★会議・学会発表論文と図書の内容を新規登録

年度末の忙しい中  
システムエラー発生

3マスもどる

H20年度  
終了

Goal?

ようやく1年が終わり、そして...



2008. 3. 3  
一般公開

Start

教員情報DBからの連携登録



教員情報DB上で教員がリポジトリ登録の意思表示ができ、そのメタデータをリポジトリに流用入力することができる登録支援機能を構築し、運用を開始した。

教員からの自発的なコンテンツ提供促進

各教員へのコンテンツ登録の依頼をした際、依頼した論文以外の論文を連携登録してくれるケースがあった!

2008. 8. 7  
教員情報DBとの  
連携開始

2マスすすむ

連携登録数(2008.8-2009.2)



紀要の投稿要領の  
改正を検討

「リポジトリ登録」の文言  
追加に一苦労

一回休み

九州工業大学学術機関リポジトリ  
“キューテイカー”  
Kyutacar  
Kyushu Institute of Technology of Academic Repository

2008. 11  
リポジトリ連携  
システムを稼動

3マスすすむ

今までは  
1件ずつ登録していたけれど...

まとめてExcelでデータ作成



海外出版社の  
著作権処理作業が  
難航

1マスもどる

統計機能 実装  
世界中からアクセス!

2008年度  
ダウンロード件数  
約25,000件

登録作業効率UP! 登録作業の一元化!

リポジトリ連携システムの開発

コンテンツの種類によって  
入力項目の制御可能

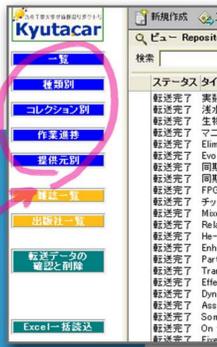
登録種別	入力項目
学術雑誌論文	著者名、題名、発行年、DOI、URL
学位論文	著者名、題名、発行年、DOI、URL、学位種別
学術報告書	著者名、題名、発行年、DOI、URL
学術会議論文	著者名、題名、発行年、DOI、URL
学術書籍	著者名、題名、発行年、DOI、URL
学術雑誌論文	著者名、題名、発行年、DOI、URL
学術報告書	著者名、題名、発行年、DOI、URL
学術会議論文	著者名、題名、発行年、DOI、URL
学術書籍	著者名、題名、発行年、DOI、URL

●教員情報DBからの連携登録管理機能  
連携登録されたコンテンツを管理、登録することが可能。

●コンテンツ作業状況管理  
メタデータ編集、進捗状況管理、  
論文PDF添付可能。各種ソート機能あり。

●コンテンツ登録機能(個別・一括)  
Excelファイルからデータの一括読み込みが可能。  
システムで選択したコンテンツをリポジトリシステムへ登録することが可能。

●著作権許諾状況管理  
出版社及び雑誌別で各著作権許諾状況を管理。登録作業時に参照可能。



学位論文の  
遡及電子化の  
作業がすすむ

2マスすすむ

学位論文著作権処理作業の結果  
(2009.2.28現在)

対象 586名

送付 463名  
(送付率 79.0%)

回答 242名  
(回答率 52.3%)

不承諾 3.7%

承諾 233名  
96.3%

コンテンツ登録  
数がついに  
1000件突破!

1マスすすむ

過去の研究成果の登録準備作業実施! → H21年度公開作業予定

学位論文の著作権処理作業

対象: 586名 (H17年度以前の学位取得者) ...> 連絡先判明(送付) 463名  
作業期間: 2008.10-2009.2 ...> 承諾 233名 / 回答242名

連絡先が判明した方へ学位論文の電子的公開の依頼文と承諾書(返信用ハガキ)を送付。  
海外の場合は「国際返信切手券」を同封し、返信を依頼した。  
2009.2.28以降も連絡先が判明したものは随時作業を行っており、現在も返信がある。  
...> 2009.6.30 現在の承諾 265名 / 回答277名  
今後連絡先が判明したものは随時作業を行う予定である。

過去の紀要の電子的公開への準備も進行中

承諾していただいた論文はH21年度に電子化処理後、登録し公開する。

- ★学術雑誌論文を約300件登録
- ★学位論文・紀要のH20年度許諾書提出分登録
- ★科研費成果報告書のH20年度許諾書提出分登録
- ★会議・学会発表論文と図書の内容を新規登録

年度末の慌しい中  
システムエラー発生

3マスもどる

H21年度の  
計画を立てる

成功を祈る★

H21年度  
開始

Start!

安定的かつ継続的な  
リポジトリの運用を  
実現する(ように頑張る。)

H21年度  
CSI委託事業  
採択決定

前進あるのみ

H21年度の計画

◎著作権処理作業が完了した過去の学位論文を電子化し、フルテキストまで公開する。

◎グリーンジャーナル掲載論文等、コンテンツを継続的に収集し、登録する。

◎教員情報DBから連携機能を強化し、連携登録の促進につなげる。

◎リポジトリシステムの拡張により、登録作業の更なる効率化を図る。

